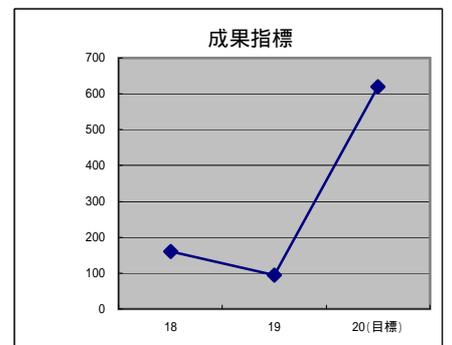
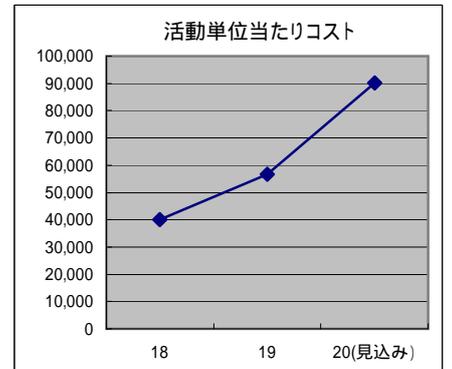


事務事業名		包括的支援事業		予算科目	会計	8	介護保険特別会計
					款	7	地域支援事業
					項	2	包括的支援事業・任意事業
					目	1	包括的支援事業
					事業		
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	作成部署	保健福祉部保険健康室高年介護課		
	施策(節)	3	高齢者福祉	連絡先	072 958 1111 内線 1353		
	施策の方向	(1)	地域包括ケアシステムの構築	関連する計画等			
	羽曳野市高齢者いきいき計画						
事業の目的	対象(誰を・何を) 主として介護保険の第1号被保険者(65歳以上)を対象とする 意図(どういう状態にしたいのか) 心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を図る						
事業の内容	包括的支援事業は 予防給付(要支援1・2認定者対象)・介護予防事業(特定高齢者対象)のケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務(成年後見制度の活用、高齢者虐待への対応、支援困難事例への対応、消費者被害の防止及び被害事例への対応)、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(関係機関との連携体制づくり、ケアマネジャーに対する個別支援)の4業務がある。このうち は予防給付ケアプラン作成事業、介護予防プラン作成事業として別記載						
根拠法令等							
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年 月開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない		終了年度	平成 年度			
事業開始時からの状況変化	65歳以上高齢者人口の増加、認知症高齢者の増加、健診制度の変更および特定高齢者選定のための生活機能評価の変更						
市民や議会の要望							
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	委託内容 地域相談窓口設置事業委託			
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託						

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		18,128	9,493	24,332
人件費【2】 (千円)		15,960	24,026	31,554
職員数	正規職員	1.83 人	2.49 人	3.15 人
	再任用職員	0.00 人	0.65 人	0.93 人
	嘱託職員	0.20 人	0.70 人	1.27 人
	臨時職員	0.06 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	212.50 時間	431.50 時間	601.45 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		34,088	33,519	55,886
財源内訳	国費 (千円)	13,830	13,779	21,679
	府費 (千円)	6,915	6,890	10,839
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)	6,488	6,464	10,170
	一般財源 (千円)	6,855	6,386	13,198
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
相談件数	件	850	591	620
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)		40,104 円	56,716 円	90,139 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		283 円	279 円	466 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
サービス利用につながった件数(件)式)		相談をサービス利用に繋ぐことで、高齢者の実態把握をし、その事情対応の適切な支援ができたか	850	160	591	94	620	
			達成率(%)		15.9%			
式)		対応支援は関係機関との連絡、助言終了等の重複対応もあり、当該指標のみでは正確でない	目標	実績	目標	実績	目標	実績
			達成率(%)					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		有

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	少子高齢化が急速に進む社会において、老老介護、認知症高齢者の増加など数多くの問題が生じてきており、それらの問題解決のための様々な形での高齢者への包括的支援は、是非とも必要である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	専門職(保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員)のチームワークにより事業対応をしているが、支援を必要とする高齢者数の増加や支援内容の重層化等により対応が長期にわたり、困難度を増しているなどの状況が生じている。加えて、介護予防支援事業に多くの時間を費やさざるを得ない状況もあり、事業実施が効率的に進められているとは言い難い。
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者が自分らしい生活を継続するために必要となる支援を業務とする、として位置付けられたものである。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者への支援として、行政と地域住民、専門職の協働で「ふれあいネット雅び」ネットワークを推進している。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

担当 部局 評価	総合評価									
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了									
	評価の理由									
	<p>介護予防支援事業に多くの時間を取られ、包括的支援事業との両立が困難な状況の改善を図るための検討および増加する支援を必要とする高齢者や重層化する支援内容に対応できる体制の整備が必要である。</p> <p>今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)</p> <p>第4期高年齢者いざいざ計画期間で地域包括支援センターの効率的・効率的な運営確保のため、在宅介護支援センター等包括的支援事業に関する調整および窓口を担う協力センター(仮称)の設置など地域資源の活用を徹底的に図る体制を構築。また第5期に向けて制度改正の動向を踏まえ、委託の在り方を含めた体制を検討していく。</p>									